

段ボールのリサイクルと 容器包装リサイクル法の見直しについて

平成25年11月19日

段ボールリサイクル協議会

段ボールリサイクル協議会の概要

設立

2000年3月7日

主な事業

- 1) 段ボールの製造、利用、回収、流通及び原料の再商品化に係る者が、綿密な情報交換を行うことにより、段ボールの効率的な利用とリサイクルの推進を図る。
- 2) 市町村が容器包装リサイクル法に基づく分別基準適合物とした使用済み段ボールが、万一、有償または無償で譲渡できない事態が発生した場合に、それらの段ボールを再商品化するための相談、斡旋などの利用促進を図る。

段ボールリサイクル協議会の概要

会員 正会員

< 製造事業者 6 団体 >

全国段ボール工業組合連合会、全日本紙器段ボール箱工業組合連合会、東日本段ボール工業組合、中日本段ボール工業組合、西日本段ボール工業組合、南日本段ボール工業組合

< 利用事業者 4 団体 >

酒類紙製容器包装リサイクル連絡会、一般社団法人全国清涼飲料工業会、日本生活協同組合連合会、公益社団法人日本通信販売協会

準会員

< リサイクル関連 4 団体 >

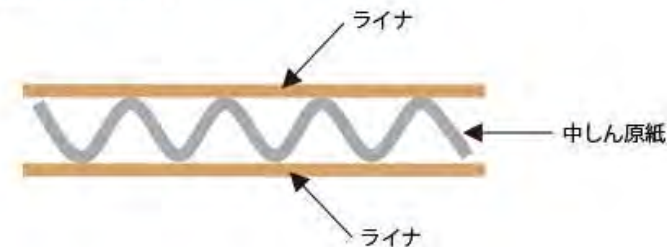
全国製紙原料商工組合連合会、日本再生資源事業協同組合連合会、日本製紙連合会、公益財団法人古紙再生促進センター

賛助会員 105社

段ボールのリサイクルの現状

容り法における段ボールの取扱い

- 再商品化義務の適用除外[1999年6月:省令]
 - ・選別され、圧縮された段ボール古紙は、製紙メーカーに有償で譲渡されている。
 - ・リサイクル機構が確立している。
- 容り法における段ボールの定義[JIS Z0108]
 - ・波型に成形した中しん原紙の片面又は両面にライナーを貼り合せたもの。



段ボールのリサイクルの現状

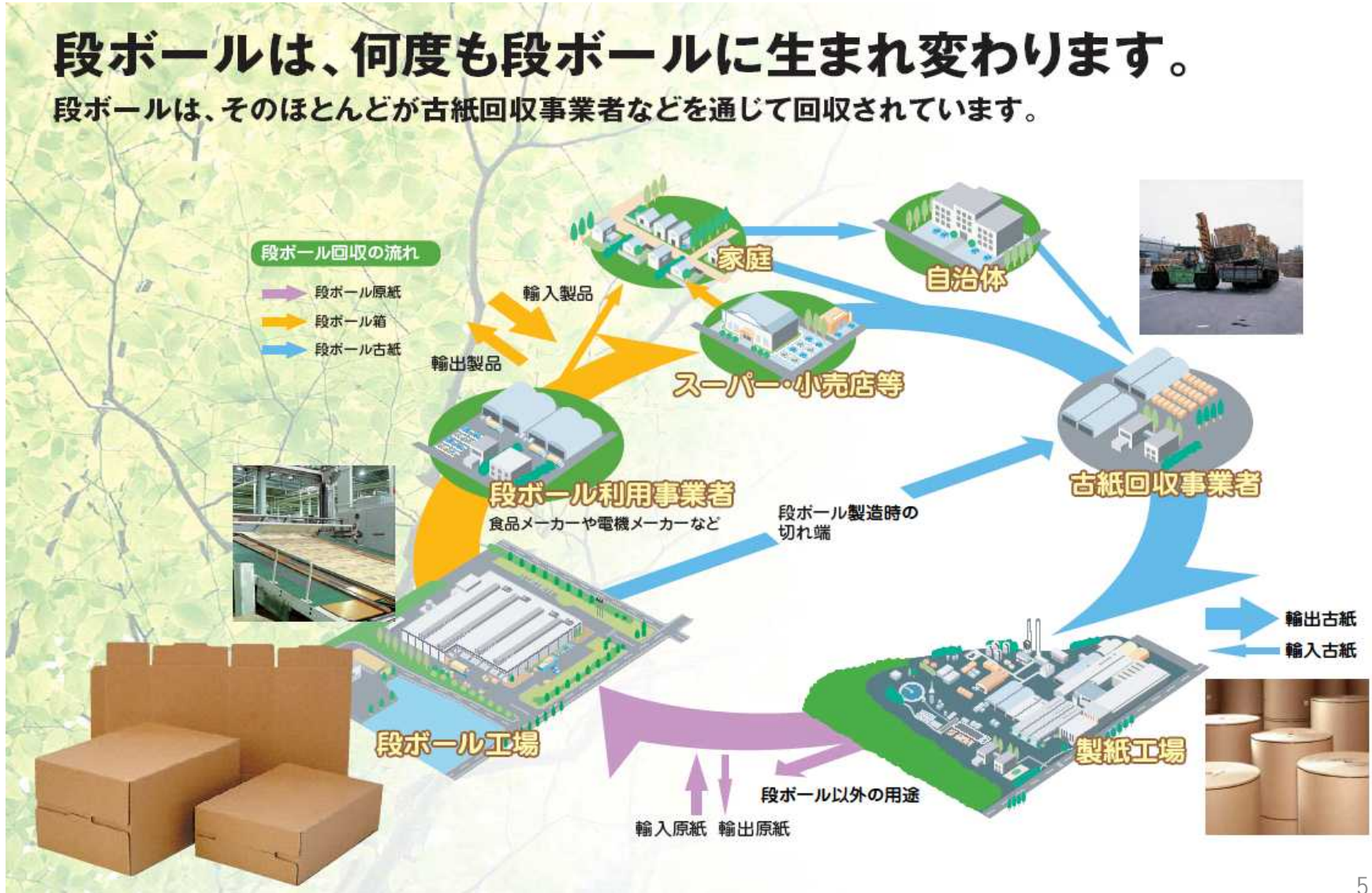
段ボールの特徴

- 事業系が90%以上で家庭から排出されるものは全体の約8%。
- 段ボールは輸送用、外装用が大半であり、段ボールの中に他の容器包装が入るものが多い。
- 回収された段ボールはその殆どが再び段ボールにリサイクルされる。

段ボールのリサイクルの現状

段ボールは、何度も段ボールに生まれ変わります。

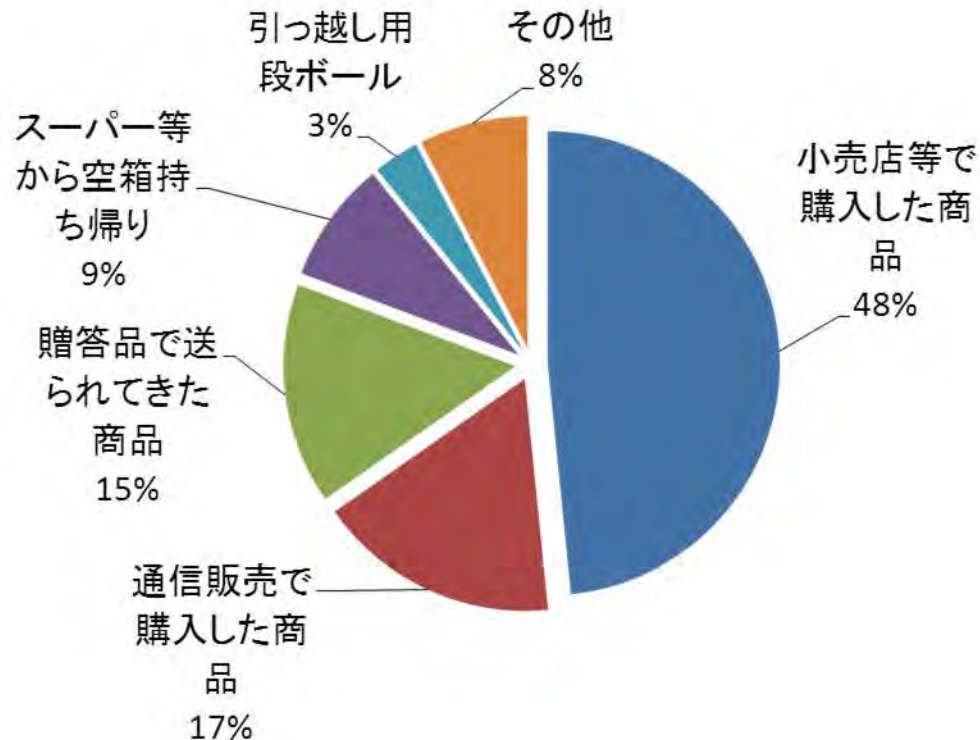
段ボールは、そのほとんどが古紙回収事業者などを通じて回収されています。



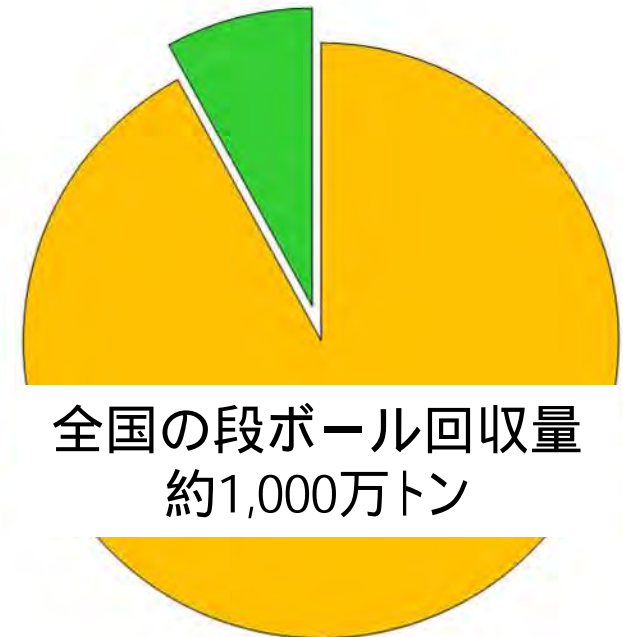
段ボールのリサイクルの現状

段ボールの排出・回収の実態

段ボールが家庭に搬入された経路
2011年9月調査*



家庭から排出される
段ボール
約80万トン*



*段ボールリサイクル協議会調査

事業者の取組み

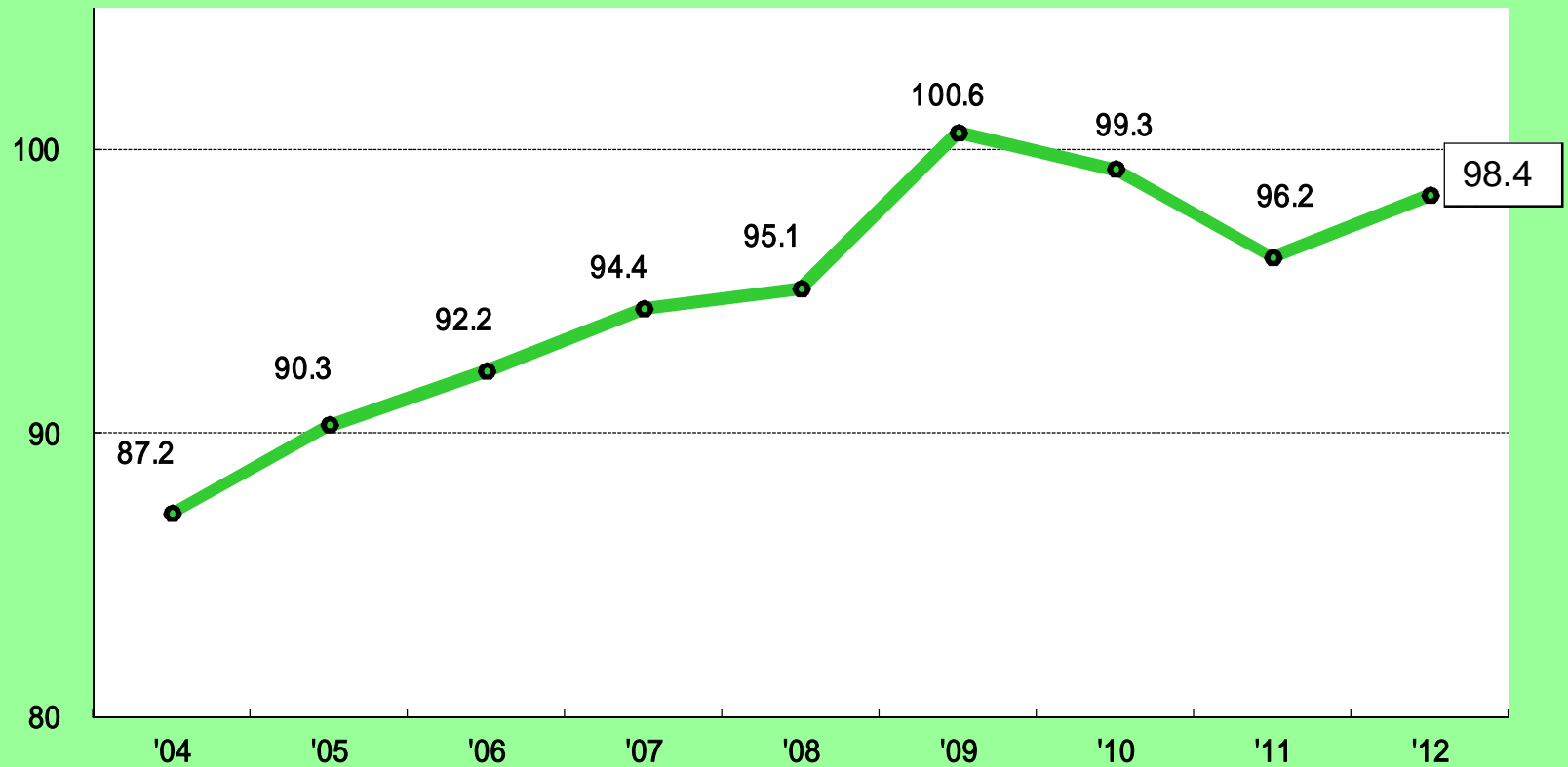
3 R 推進自主行動計画 (数値目標)

		基準実績 (2004年)	第一次計画 (2010年迄)	2010年実績	第二次計画 (2015年迄)	2012年実績
リデュース	1㎡あたり 重量	640.9g / m ²	1%軽量化 (634.4g / m ²)	1.8%軽量化 (629.4g / m ²)	5%軽量化 (608.8g / m ²)	3.6%軽量化 (617.8g / m ²)
リサイクル	回収率	87.2%	90%以上を 維持する	99.3%	95%以上を 維持する	98.4%
識別表示の 推進	リサイクル マーク 表示率		90%以上を 目指す	92.6% (2010年10月調査)	90%以上の 維持・向上	93.8% (2012年7月調査)

.事業者の取組み

リサイクルの推進

段ボールの回収率推移 (%)



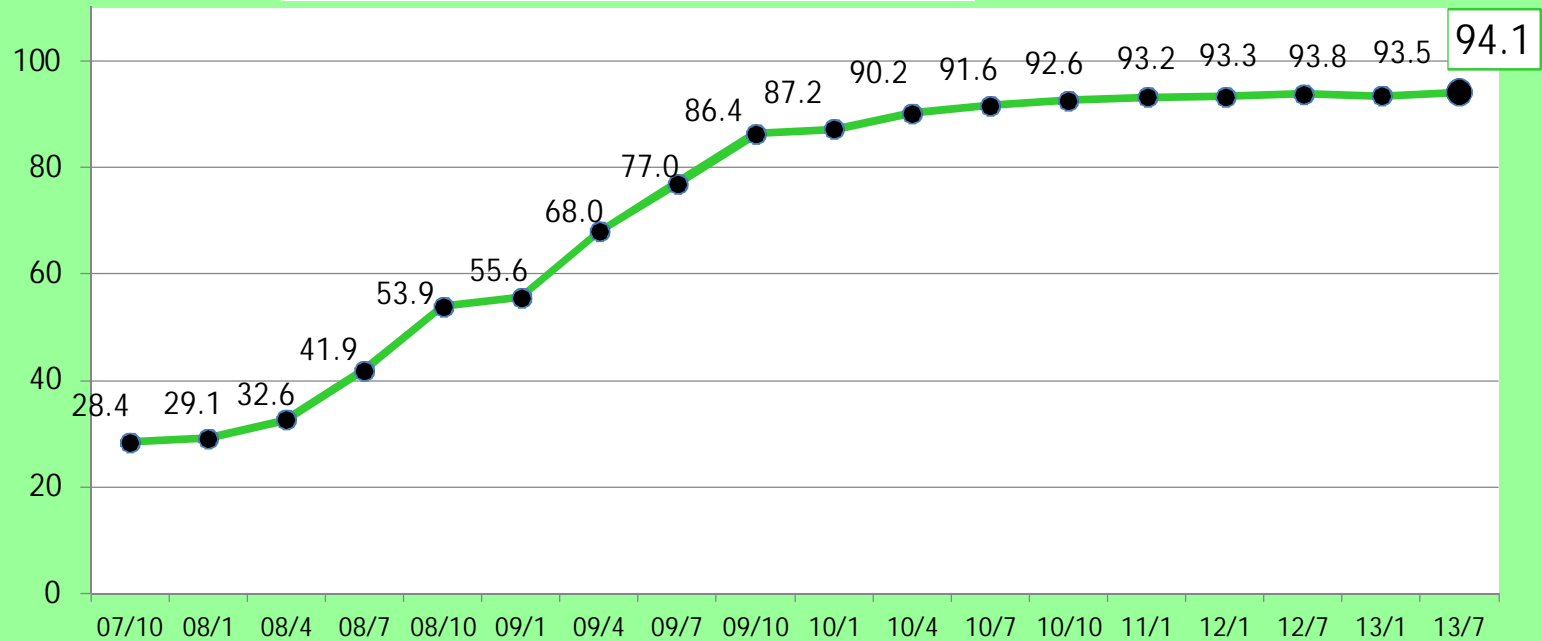
事業者の取組み

リサイクルマーク表示促進



ダンボール

リサイクルマーク印刷率推移 (%)



ダンボールはリサイクル



ダンボールは
リサイクル



ダンボールはリサイクル



Corrugated
Recycles

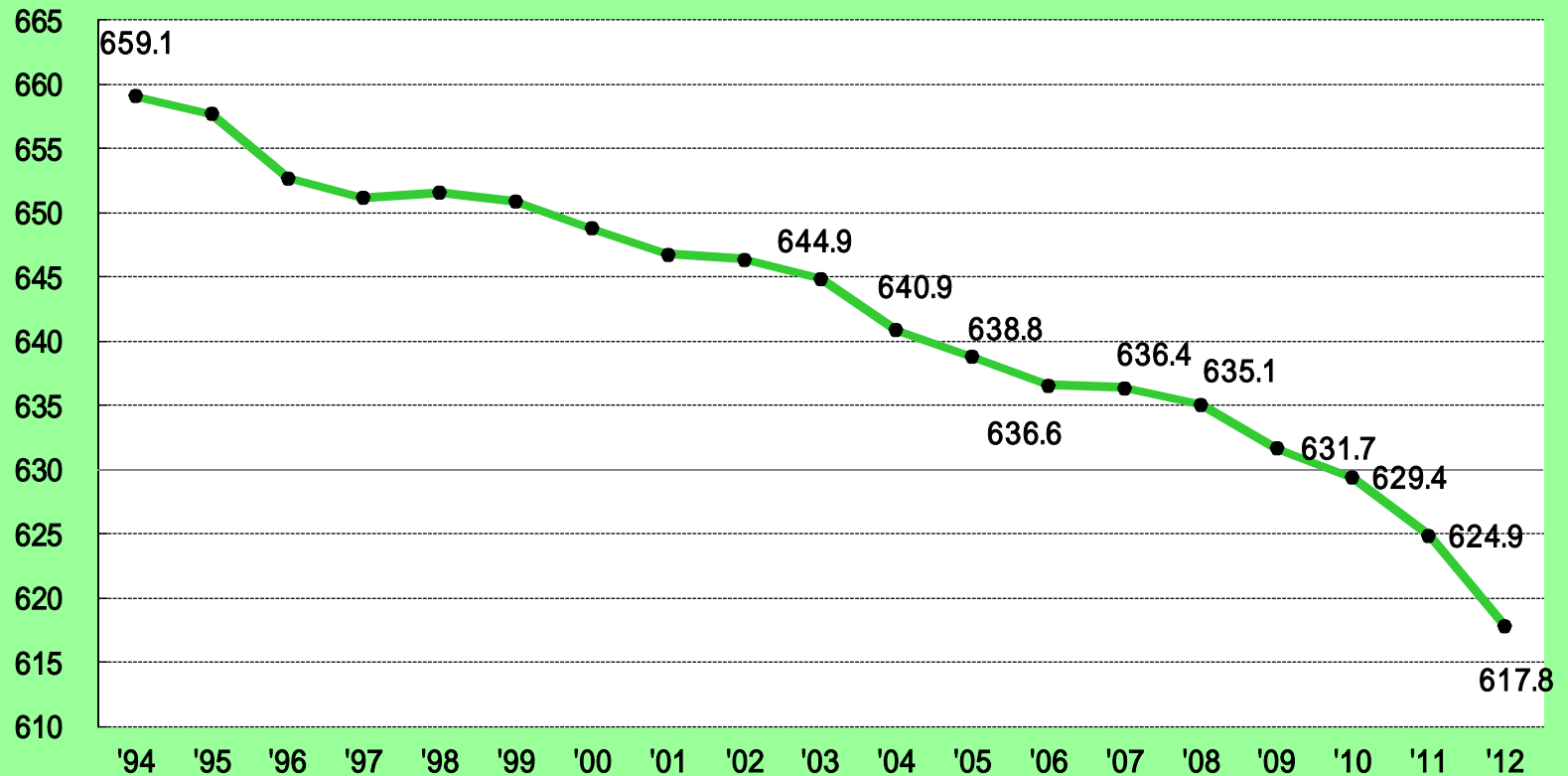


可回収
瓦楞製品

事業者の取組み

リデュースの推進

段ボールのm²あたり重量推移 (g/m²)



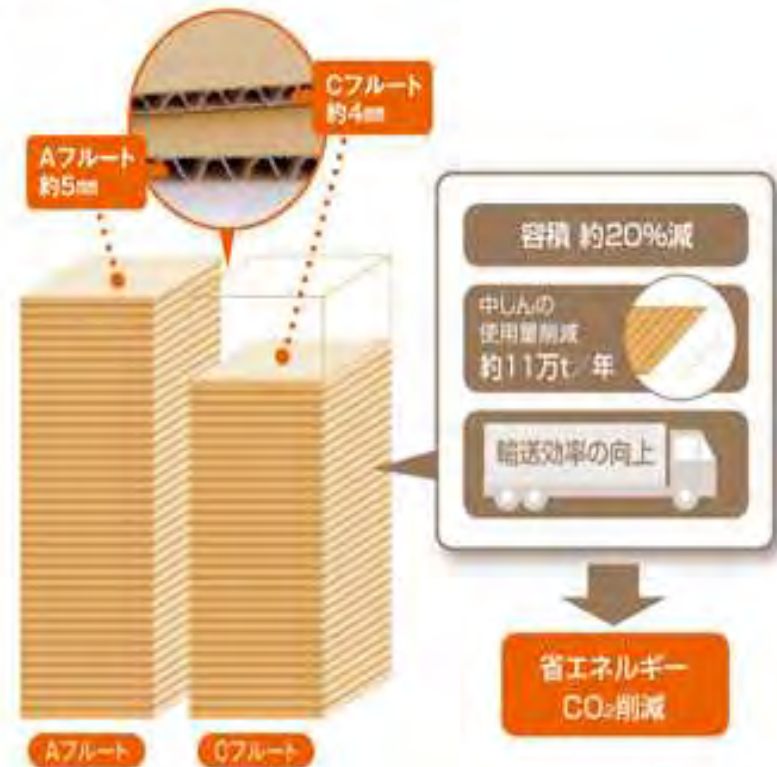
事業者の取組み

リデュース 事例

・Cフルート段ボールの推進

日本で主流の段ボールは厚さ5mmのAフルートですが、世界的には厚さ4mmのCフルートが主流です。1mmの違いですが、中しんの消費量を削減できるとともに約20%減容化されるため輸送効率があがり、省資源、省エネルギーにつながり、CO2排出量の削減にも寄与します。

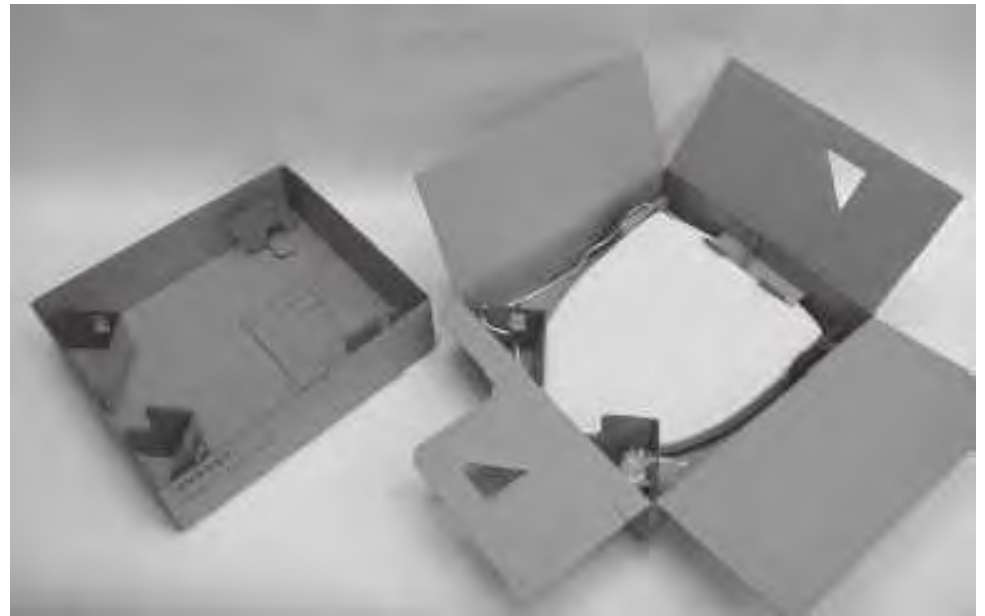
Cフルート段ボールの特徴



事業者の取組み

リデュース 事例

- 日本パッケージコンテスト 適正包装賞 (2011年)
- 「包装材50%off」省エネ包装
- TOTO(株)
- 仕切りや緩衝材を使用しないで包装箱だけで包装が完結する包装形態を実現した。包装箱のフラップを加工し、内容物の固定機能及び緩衝機能を持たせ、容易な組み立てを可能とした。従来包装に比べ包装材50%削減でき、温室効果ガスも221t-CO₂ / 年削減を達成した。

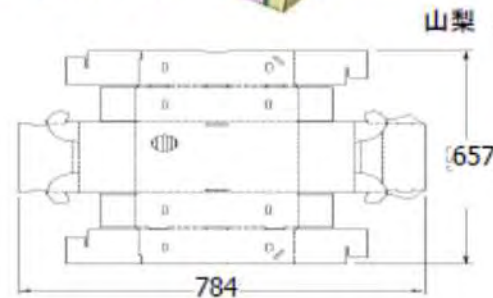


事業者の取組み

リデュース 事例

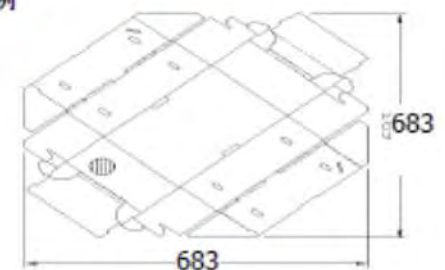
- 日本パッケージコンテスト 適正包装賞 (2004年)
- 青果物用トレイ形式深箱の段ボール使用面積10%削減
- 全農山形県本部、愛知経済連 / レンゴー(株)

- メロンやぶどうはトレイ形式の箱が使われることが多い。強度を必要とするため二重壁となっているが、共に深い箱であるため、材料使用量が多い。
- 段目を斜めにして取ると効率がよくなり、必要な段ボールシート面積が削減できる。



従来品 0.515 m² (100)

山梨 ぶどうの削減例

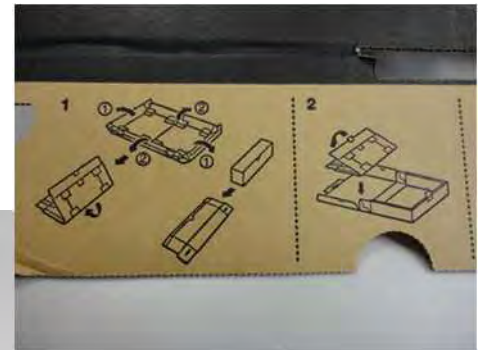


考案品 0.466 m² (90)

事業者の取組み

たたみ易く廃棄しやすい 事例

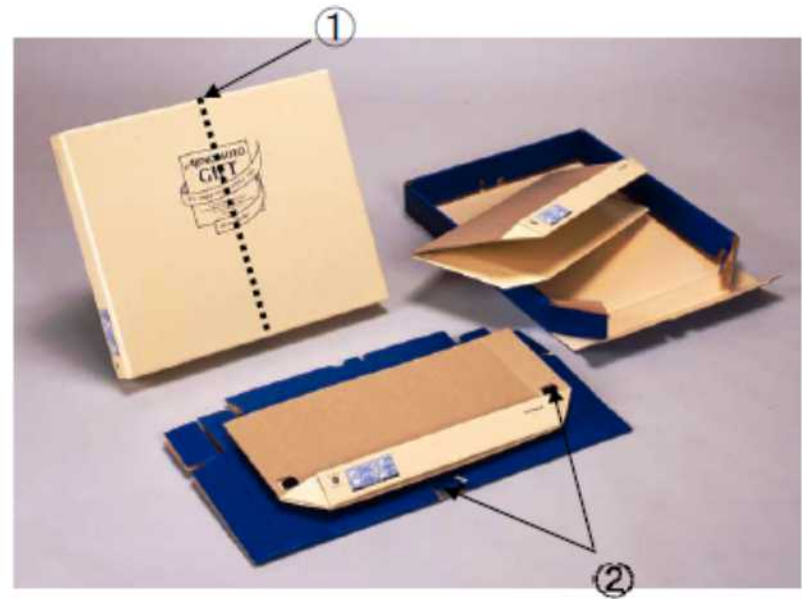
- 日本パッケージコンテスト テクニカル包装賞 (2011年)
- VAIO Sシリーズのサスティナブルパッケージ
- ソニー(株) / ダイナパック(株)
- 「負荷なく楽しくリサイクル」を目指して開発した。外箱、クッション、アクセサリボックスは形状が簡単に崩れ容易に畳みやすく、畳んだ後一つにまとめて持ち運べる仕様になっている。また、外箱とクッションにこれらの手順のイラストを入れることによりお客様にリサイクルを促す。



事業者の取組み

小さくたたんで廃棄しやすい 事例

- 日本パッケージコンテスト 適正包装部門賞（2006年）
- ギフト箱の梱包改善
- 味の素(株)、王子製紙(株)
- たたみ易く、たたんだ時の面積も約50%削減
- パッケージに印刷された図解を見ながら、簡単におりたたみ、固定することができる。これにより箱をたたんだ時に浮き上がらず、面積も約半分になる。



廃棄の際、折り曲げやすくするため、あらかじめ隠し罫線を入れている。

折り曲げが元に戻らないように折り込みをいれている。
(ストッパー)

事業者の取組み

主体間連携の取組み

- 3R推進団体連絡会のフォーラム・セミナー等
- 自治体関連施設への啓発物提供等による支援
- 古紙再生促進センターによる集団回収表彰

普及・啓発の取組み

- エコプロダクツ展への出展
(2006年～ 毎年)
- 段ボールリサイクルのパンフレット、
DVDの作成、配布、貸与



容器包装リサイクル法の見直しについて

- 現行の役割分担は効果的に機能し、成果を上げており、現状の役割分担を堅持しつつ、主体間の連携をより強化させていくことが、3R推進のために、最も有効な方法である。
- 事業者の自主行動計画は一定の成果を上げており、地球温暖化問題等への対応等事業者の社会的責任意識はますます強くなっている。今後も3R推進のための自主行動計画に継続して取り組んで行く。